



## IFRS ゼミナール プログラムの概要とご案内

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

この度、太陽 ASG 有限責任監査法人では、IFRS ゼミナールを下記のとおり開催いたします。本ゼミナールでは IFRS 導入に際しての課題や IFRS の最新の動向を踏まえ、項目別に詳しくご説明いたします。

この機会を、貴社の IFRS 適用準備にお役立ていただきたく、ご参加賜りますようご案内申し上げます。

敬具

■プログラム概要(時間は全講義 14:30~17:00)

回数	日程	会場名	講師(予定)	講義内容
第 1 回	2 月 17 日(水)	3 階 孔雀	パートナー 吉田 明世	IFRS の概要、IFRS 導入が会社に与える影響
概要	IFRS の歴史・設定主体や IFRS の構成等、IFRS の概要について解説するとともに、海外における IFRS の導入状況を踏まえ、日本における導入予定や導入された場合の影響等について解説します。IFRS に関する前提知識の習得を目標とします。			
第 2 回	2 月 24 日(水)	2 階 芙蓉	社員 大矢 昇太	概念フレームワーク、財務諸表の表示、IFRS の初度適用
概要	会計の憲法と呼ばれている概念フレームワークについて解説します。特に、財務諸表の構成要素の定義・認識・測定については、個別基準を理解するうえでも重要ですので、資産・負債アプローチの視点から、詳細に説明します。包括利益・公正価値の概念や、IFRS 初度適用時の留意点についても説明します。			
第 3 回	3 月 3 日(水)	3 階 孔雀	社員 西田 光宏	収益
概要	収益に関する個別基準について解説します。IAS18 では収益認識の要件はどのように規定・運用されているのか等、日本で導入された場合に実務上課題となる点を中心に説明します。IAS18 以外にも、カスタマー・ロイヤリティ・プログラムや工事進行基準の基準も紹介します。個別論点については、ケース・スタディを実施します。			
第 4 回	3 月 10 日(水)	3 階 孔雀	代表社員 新井 達哉	有形固定資産、リース、投資不動産等
概要	有形固定資産・投資不動産等に関する個別基準について解説します。IFRS 上、当初認識後の測定方法にはどのようなものがあるのか、減価償却はどのように実施されるのか等、日本基準と比較しつつ、実例を用いて詳細に説明します。リース・プロジェクトの進捗状況についても概説します。			
第 5 回	3 月 17 日(水)	3 階 孔雀	代表社員 泉 淳一	金融商品
概要	金融商品に係る基準の体系と、各々の個別基準について解説します。金融資産・金融負債の定義や、金融商品の分類及び測定について、日本基準と比較しつつ、実例を用いて詳細に説明します。現在進行中のプロジェクトにおいて、減損処理やヘッジ会計に関する基準が今後どのように改訂される予定であるのか、概説します。			
第 6 回	3 月 24 日(水)	2 階 芙蓉	社員 和田 磨紀郎	従業員給付
概要	従業員給付に関する個別基準について解説します。退職後給付に関しては、主に給付建制度の会計処理を中心に説明するとともに、数理計算上の差異の認識方法については、今後の動向も含めて詳細に解説します。解雇給付や有給休暇引当金等の会計処理についても、日本基準と比較しつつ概説します。			

第7回	6月2日(水)	3階 孔雀	代表社員 八代 輝雄	引当金、偶発負債・偶発資産
概要	引当金、偶発負債及び偶発資産に関する個別基準について解説します。企業はなぜ偶発負債を計上してはならないのか、最善の見積とは何か、実例を用いて具体的に説明します。また、蓋然性要件の削除や、期待値方式への一本化を企図している引当金プロジェクトの概要についても、概説します。			
第8回	6月9日(水)	3階 孔雀	社員 北垣 栄一	法人所得税
概要	法人所得税に関する個別基準について解説します。当期税金負債(資産)の認識、繰延税金資産・負債の認識・測定・表示について網羅的に説明するとともに、繰延税金資産の回収可能性の判断等、日本基準と取扱いが相違する点については、詳細に解説します。			
第9回	6月16日(水)	3階 孔雀	社員 中野 秀俊	企業結合、連結財務諸表
概要	企業結合や連結財務諸表等に係る基準の体系と、各々の個別基準について解説します。のれん及び負ののれんの認識・測定方法、連結の範囲、JV に対する持分の会計処理等の論点について、日本基準と比較しつつ、解説します。			
第10回	6月23日(水)	2階 芙蓉	社員 大矢 昇太 社員 尾川 克明	その他論点(無形資産、株式報酬、事業セグメント、会計方針変更等)
概要	第9回目までの講義で触れていない主要な論点について、概観します。自己創設無形資産はどの局面で認識できるのか、持分決済型の株式報酬取引の測定はどのように実施するのか、マネジメント・アプローチとは何か、会計方針変更時の遡及的適用に際しての留意点は何かなど、網羅的に解説します。			

#### ■参加費用

お一人様全 10 回で 30,000 円(税込)

#### ■お申込み方法

参加申込書の項目をご記入のうえ、弊法人まで FAX をお願いいたします。後日、受講票、ご請求書等をご送付いたします。尚、会場の都合上、各社 1 名様とさせていただきます。

#### ■定員

100 名  
(大変申し訳ございませんが、定員になり次第、締め切らせていただきます。)

#### ■受付締切

平成 22 年 2 月 12 日(金)

#### ■会場

ホテルフロラシオン青山  
〒107-0062  
東京都港区南青山 4-17-58  
TEL:03-3403-1541



※ 東京メトロ表参道駅下車 徒歩 6 分

A4 出口を地上に上がり、左方向へ直進(約 200m)、信号を左折し、さらに約 200m 直進いただくと、右手にございます。

各会場へはホテル内エレベーター、または、階段でご来場ください。

2階 芙蓉

3階 孔雀